

7年産

「アスパラガス（露地）」栽培基準

品 種 名	ウエルカム、スーパーウエルカム、パープルウエルカム ガインリム、ゼンユウガリバー、アティカス
目 標 粗 原 反 収	140kg
目 標 製 品 反 収	120kg
播 種 時 期	(定植年)3月下旬～4月上旬
定 植 時 期	(定植年)5月下旬～6月上旬
収 穫 時 期	5月上旬～6月中旬

	7月			8月			9月			10月			11月			2月			3月			4月			5月			6月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
基本作業	施肥	倒伏防止措置											倒伏防止措置撤去									施肥								
	除草剤	防 除																				茎葉処理 堆肥施用	除草剤							

【施肥基準】

肥 料 名		施用量	要素量(kg/10a)		
			N	P	K
収穫後	アスパラ化成552E(有機質)	110kg	16.5	16.5	13.2
収穫前	硫安	15kg	3.15		
合 計		125kg	19.65	16.5	13.2

【農薬使用基準】

項 目	適 用 病 害 虫 名	農 薬 名	使用濃度 (倍)	10a当り薬量 (水100ℓ)	適 正 使 用 基 準		RAC コード
					使用時期	回数	
殺虫剤	アブラムシ類・ヨウムシ・カメムシ類 ジュウホシヒナガハムシ	アディオソ乳剤	2,000	50ml	前日	3	I:3A
	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤	5,000	20g	前日	2	I:5
	アオムシ・コナガ・ヨウムシ・ハスモンヨウ	フローバックDF	1,000	100g	前日(発生初期)	-	I:11A
	ネギアザミウマ・ハスモンヨウ・ヨウムシ	ブレオフロアブル	1,000	100ml	前日	2	I:UN
	アザミウマ類・カメムシ類	モスピランSL液剤	4,000	25ml	前日	2	I:4A
殺菌剤	ネキリムシ類	ガードベイトA	-	3kg	前日(株元散布)	3	I:3A
	斑点病・茎枯病	アフェットフロアブル	2,000	50ml	前日	4	F:7
		ダコニールエース	1,500	66ml	前日	4	F:M5
		フロンスサイドSC(露地限定)	2,000	50ml	収穫後但し秋期まで	5	F:29
		Zボルドー	500	200g	-	-	F:M1

※アディオソ乳剤、ガードベイトAは成分としてペルメトリンを含む。ペルメトリンを含む農薬の総使用回数は3回以内。

【ローテーション防除と作業体系】

散布時期		回数	薬 剤 名 お よ び 作 業
前 年	7月上旬		収穫後施肥(アスパラ化成552E)
	7月中旬	1	フロンスサイドSC
	8月上旬	2	ダコニールエース
	8月下旬	3	アフェットフロアブル
	9月上旬	4	ダコニールエース
	9月中旬	5	フロンスサイドSC
収 穫 年	10月上旬	6	アフェットフロアブル
	4月上旬		堆肥施用
	4月下旬		収穫前施肥(硫安)
	5月上旬		収穫開始
	6月中旬		収穫打ち切り

項 目	適 用 雑 草	農 薬 名	10a当り薬量	使 用 時 期	回数	RAC
除草剤	一年生雑草	センコル水和剤	150g	萌芽前又は収穫打切後	1	H:5
		ザクサ液剤	500ml	萌芽前又は畦間処理(収穫前日まで)	2	H:10
	一年生イネ科雑草 (スズメカササグを除く)	ナブ乳剤	200ml	イネ科雑草3～8葉期(収穫前日まで)	1	H:1

【土づくり・防除技術】

1. 完熟堆肥(牛ふん麦稈堆肥で3t/10aまで)の施用を基本とする。
2. 土壌診断を実施し、pH6～6.5を目標に土壌改良を行い、適正施肥を行なう。
3. 斑点病については、6回のローテーション防除(10～14日間隔)を基本とし、降雨が多い場合は防除間隔を狭める。